

株松井製作所 環境行動計画

令和2年12月14日

取組方針

株式会社松井製作所は、プラスチック成形品の製造・販売を主たる業務としており、各部門がそれぞれの業務活動の過程で、資源、エネルギーを消費すると共に各種廃棄物を排出するなど環境に負荷を与えています。

これを踏まえて、当社は環境を保全する事も重要課題の一つであると認識し、地球環境に及ぼす影響を最小限にすることを念頭に置き、進歩・発展していくことを目指していきます。このため、私たちは、以下の事項を考慮して社員一丸となって推進します。

- ① 事業活動の中での省エネルギーと省資源(電力使用量、紙、水使用量の節減)
- ② 製造部門、事務部門における廃棄物の削減
- ③ 危険物・化学物質の安全な取扱
- ④ 5S(整理・整頓・清掃・清潔・躰)の徹底

この方針達成のため、全社員に環境教育ならびに環境汚染の予防を周知させます。そしてこの保全活動に取り組むために、取組方針と取組目標及び具体的な取組内容を全社員に周知徹底させ、社外に公表します。

令和2年12月14日(制定年月日)

株式会社松井製作所
代表取締役社長 松井 幸憲

■ 環境負荷低減の取組

当社では、事業活動に伴う環境負荷を低減するための取組目標を掲げ、目標を達成するための具体的な取組を設定して取り組むこととしています。設定した取組目標と具体的な取組項目は、次の通りです。前回の審査結果報告を受け、前回更新申請時(H29年度)を基準年として各目標を設定した。

目標一	二酸化炭素の製造トン当りの排出量を3%削減する 3377(Kg-CO2/製造トン)→3276に
具体的な取組	(製造部門) ① 成形機加熱ヒーターの効率良い使用を心掛け、また段取り時間中はヒーター電源をシャットダウンする。 ② 休憩時間・昼休みには、使用していない領域の電灯を消灯する。 ③ 作業終了時、成形機加熱ヒーターを早めにシャットダウンする。 ④ 夜勤時のコンプレッサー稼働を1台減少させる。 ⑤ フォークリフトのエンジンは必要時以外は直ぐに切る。 (事務・営業部門) ⑥ 事務室の空調温度を適正に設定する。(冷房時28度、暖房時20度) ⑦ 人のいない区域の消灯を徹底する。 ⑧ エアコンを使用する時は扇風機で室内の空気を循環させる。 ⑨ OA機器の節電機能を活用する。 ⑩ 長時間席を離れる時は、OA機器をスタンバイモードにする。

目標二	産業廃棄物の製造トン当たりの排出量を1%削減する 0.98(トン/製造トン)→0.97に
具体的な取組	① 成形不良の低減を図る。 ② 細かい端材もなるべく分別し、リサイクル率を高める。 ③ 廃棄物収集実績の管理を徹底する。

目標三	製造トン数当たりのコピー用紙の使用量を1%削減する 0.72(Kg/製造トン)→0.71に
具体的な取組	① 片面使用済の不要紙をストックし、その裏面でのコピーを推進。 ② 書面、資料の電子データ化を進める。

目標四	製造トン数当たりの水使用量を1%削減する) 2.52(m ³ /製造トン)→2.50に
具体的な取組	① 手洗い場、トイレに節水の標語を掲示する。 ② 商品水拭きのための水の量は必要最小限にする。

■ 環境行動計画の実施体制

社長を委員長とする環境活動委員会を設け、1年ごとに取組目標の進捗状況と具体的な実施状況をチェックします。